

は し が き

第8回宜野湾市統計書（昭和60年版）をここに刊行いたします。

この統計書は宜野湾市の人口、産業、経済、社会および教育文化等の各分野における基本的な統計資料を総合的かつ体系的に集録し、市勢の現況ならびにその推移を明確に把握しようとするものであります。

本書の編集にあたっては不備、不完全な点が多々あることと存じますが、これらにつきましては今後、各方面からのご指摘、ご意見を得まして、使い易い統計書を作成していきたいと思っております。

なお、本書の編集に際し、貴重な資料の提供、その他御協力をいただきました関係各位に対しまして深く感謝申し上げます。

昭和61年3月

宜野湾市長 桃原正賢



目 次

目

統計書の御利用にあたって	1
沿革の概要	2
宜野湾市の位置及び面積	3
宜野湾市地形図	4
宜野湾市行政区図	5
統計図表	6～23

I 土地・気象

1. 地目面積	24
2. 有租地面積	24
3. 土地評価額	25
4. 行政区別面積（軍用地を除く）	25
5. 軍用地の施設名及び面積	26
6. 農地転用状況（昭和59年次）	27
7. 農地転用状況（昭和60年次）	28
8. 農地転用の推移（法4条）	29
9. 農地転用の推移（法5条）	29
10. 気象年表	30
11. 年別月別平均気温	31
12. 年別月別平均湿度	31
13. 年別月別降水量	32

II 人口・世帯・労働力

14. 人口動態	33
15. 本籍字別戸籍人口推移	34

次

16. 行政区別年別人口推移	35
17. 年別人口推移	36
18. 外国人登録人口	37
19. 戸籍人口	37
20. 将来人口の推移	38
21. 沖縄県、市別、郡別人口及び世帯数	39
22. 国勢調査人口の推移	40
23. 年令〔名才〕男女別人口	41
24. 国調年令別〔5才階級〕男女別人口の推移	42
25. 年令〔5才階級〕配偶関係、男女別15才以上人口	43
26. 沖縄地区別、中部市町村別人口面積及び人口密度	44
27. 産業（大分類）従業上の地位（5区分） 男女別15才以上就業者	45
28. 男女別15才以上労働力推移	46
29. 人口集中地区、人口増加数・面積及び人口密度の推移	46

III 工業・商業・事業所

30. 工業の推移	47
31. 産業（中分類）別事業所数・従業者数・現金給与総額 原材料使用額、製造品出荷額等	48
32. 産業（中分類）別事業所数及び従業者数推移	49
33. 産業（中分類）別商店数（法人・個人別） 常時従業者数及び年間販売額	50
34. 産業（中分類）別商店数、従業者数及び年間販売額 （飲食店を除く）	51

35. 産業（中分類）別商店数、従業者数及び年間販売額	52
36. 産業（大分類）別事業所数及び従業者数	53

IV 農業・漁業

37. 経営耕地面積	54
38. 専兼業別農家数	55
39. 農家人口	56
40. 年令別農家人口	56
41. 農業就業人口	57
42. 年齢別農業就業人口（自家農業従事日数別）	57
43. 経営耕地面積規模別農家数	58
44. 農産物販売金額規模別農家数	59
45. 総農家数に占める農産物販売農家数	59
46. 農作物の類別収穫農家数	60
47. 農作物の類別収穫面積	61
48. 漁業経営体の構成	62
49. 漁業の海上作業従事日数及び漁獲金額別経営体数	63
50. 自営漁業の専兼業別経営体数	63
51. 漁種別漁獲量	64

V 建設

52. 構造別建築確認受付棟（件）数	65
53. 用途別建築確認受付棟（件）数	65
54. 市内の家屋数	66
55. 課税家屋の床面積及び評価額	67

56. 木造家屋（課税分）	68
57. 非木造家屋（課税分）	68
58. 市営住宅（第一種）	69
59. 市営住宅（第二種）	69
60. 市街化区域の用途別面積	70
61. 都市公園数及び面積	70
62. 市道の状況	71

VI 上・下水道

63. 水道事業の推移	72
64. 用途別調定栓数	73
65. 用途別給水量及び収益額	73
66. 受水量及び有効水量	74
67. 受水、給水量及び金額	74
68. 各分岐点給水区域内の漏水発見件数及び 年間推定漏水防止量	75
69. 基地内給水量	76
70. 下水道概況	77
71. 下水道普及状況	78

VII 社会・福祉

72. 国民健康保険加入状況	79
73. 国民健康保険受診状況	80
74. 国民健康保険の助産費、葬祭費	80
75. 国民年金加入状況	81

76. 国民年金（拠出制）受給状況	82
77. 福祉年金（無拠出制）受給状況	82
78. 保育所状況	83
79. 生活保護の動向	85
80. 種類別生活保護費の推移	85
81. 保護申請開始、廃止の推移	86
82. 保護廃止の理由別推移	86
83. 世帯類型別保護世帯数の推移	87
84. 保護開始の理由別推移	87
85. 老人クラブの状況	88
86. 民生委員兼児童委員数保護司・身体障害者相談委員数	88
87. 母子及び寡婦福祉資金貸付状況	89
88. 身体障害者数	89
89. 世帯更生資金貸付状況	90
90. 市民相談状況	91

VII 保健・衛生

91. 市内医療施設数	92
92. 集団検診実施状況	92
93. 各種予防接種実施状況	93
94. テリ処理状況	94
95. し尿処理状況	94
96. 母子手帳交付状況	95
97. 畜犬登録数	95

IX 教育・文化

98. 学校別、学級数、児童生徒数、教諭数及び職員数	97
99. 学校別、学級数、児童生徒数、教諭数及び職員数	98
100. 行政区別、学年別児童生徒数	99
101. 学校別、学級数、生徒数、教諭数及び職員数（その1）	100
102. 学校別、学級数、生徒数、教諭数及び職員数（その2）	101
103. 学校別、学級数、生徒数、教諭数及び職員数（その3）	102
104. 沖縄国際大学教官、事務官及び学生数	102
105. 琉球大学教官、事務官及び学生数	103
106. 年別、小学校・中学校児童生徒数推移	104
107. 幼稚園、園児数及び教諭数推移	104
108. 各小学校学年別児童数推移（その1）	105
109. 各小学校学年別児童数推移（その2）	106
110. 各小学校学年別児童数推移（その3）	107
111. 各小学校学年別児童数推移（その4）	108
112. 各中学校学年別生徒数推移（その1）	109
113. 各中学校学年別生徒数推移（その2）	110
114. 高等学校男女別生徒数（その1）	110
115. 高等学校男女別生徒数（その2）	111
116. 高等学校男女別生徒数（その3）	112
117. 学校別中学校卒業後の状況（その1）	113
118. 学校別中学校卒業後の状況（その2）	114
119. 高等学校卒業後の状況（その1）	114
120. 高等学校卒業後の状況（その2）	115
121. 高等学校卒業後の状況（その3）	116

122-123.	年別年令別小学生体位（身長）	117
124-125.	年別年令別小学生体位（体重）	118
126-127.	年別年令別小学生体位（胸囲）	119
128-129.	年別年令別小学生体位（座高）	120
130-131.	年別年令別中学生体位（身長・体重）	121
132-133.	年別年令別中学生体位（胸囲・座高）	122
134.	小学校必要教室数及び保有教室数	123
135.	中学校必要教室数及び保有教室数	124
136.	学校給食センター別、給食人員別職員数	124
137.	市内小中学校施設状況	125
138.	児童生徒1人当り校地及び運動場の面積	126
139.	宜野湾市の文化財	127
140.	市内の先史遺跡及び遺物（その1）	128
141.	市内の先史遺跡及び遺物（その2）	129
142-143.	市民会館利用状況	130～131

X 通信・運輸

144.	郵便物数の推移（昭和59年次）	132
145.	郵便物数の推移（昭和60年次）	133
146.	市内郵便施設数	134
147.	市内の自動車登録台数	135

XI 公安・防災

148.	宜野湾警察署職員状況	136
149.	交通事故発生状況（宜野湾市内）	137

150.	宜野湾署管内の交通事故発生状況	137
151.	宜野湾署管内の交通三悪による事故状況	138
152.	市内派出所状況	138
153.	少年犯罪の状況	139
154.	宜野湾署管内刑法犯罪認知及び検挙状況	139
155.	年別火災発生件数	140
156.	曜日別火災発生件数	140
157.	種類別出動状況	141
158.	行政区別火災発生件数	142
159.	原因別火災発生件数	142
160.	月別火災発生件数	143
161.	時間帯別火災発生件数	143
162.	行政区別消防水利	144
163.	救急内容別出場状況	145
164.	行政区別出場状況	145
165.	救急、曜日別、月別出場状況	146
166.	各地区病院、医院への救急搬送状況	147
167.	救急隊員の行った応急処置	148
168.	階級別職員数の推移	149
169.	消防車両の状況	149
170.	階級別年令状況	150
171.	階級別勤務年数状況	150
172.	職員の資格技能取得状況	151
173.	建築同意事務処理状況	152

XII 選挙

174. 投票区別選挙名簿登録者数	153
175. 選挙名簿登録者数	154
176. 行政区別選挙名簿登録者数	155
177. 市長選挙	156
178. 市議会議員選挙	156
179. 県知事選挙	157
180. 県議会議員選挙	157
181. 国会議員選挙	158

XIII 行財政・市職員数

182. 議会開催状況	159
183. 議案請願陳情等の処理状況	160
184. 会派別議員数	160
185. 年齢別議員数	161
186. 職業別議員数	161
187. 一般会計予算額及び決算額（その1）	162
188. 一般会計予算額及び決算額（その2）	163
189. 市債未償還額	164

190. 市有財産	164
191. 国民健康保険特別会計予算額及び決算額	165
192. 水道事業会計予算額及び決算額	166
193. 下水道事業特別会計予算及び決算額	167
194. 宜野湾市老人保健医療特別会計予算額及び決算額	168
195. 野嵩地区土地区画整理事業特別会計予算及び決算額	169
196. 真志喜地区土地区画整理事業特別会計予算及び決算額	170
197. 市税	171
198. 歴代三役名	172
199. 歴代正副議長名	173
200. 市議会議員名簿	174
201. 市職員数	175

XIV 付録

202. 宜野湾市自治会及び自治会長名	176
203. 市の公共施設	177
204. 県の公共施設	178
205. 国の公共施設	178
206. その他の施設	178

統計書のご利用にあたって

1. この統計書は、宜野湾市の各分野の基本的な統計資料を、原則として昭和60年または59年度を中心に集録掲載し、併せて過去の資料も累年比較してあり、収録期間は年または年度、性質により利用度が高いように適宜伸縮してあります。
2. 統計表に特別な表示、注釈のないかぎり「宜野湾市」を範囲としたものであります。
3. 資料は企画調整部行政管理課の指定統計などのほかに、諸官公庁、団体および市役所各課などからご提出いただいたものです。その出所は各表の右下に掲げました。
4. 調査の時期については、原則として上部右側に注記してありますが、統計表中に「年次」とあるのは暦年（1月～12月）「年度」とあるのは会計年度を表しています。
5. 数字の単位未満は四捨五入を原則としました。そのため合計の数字と内訳の数字の計が一致しない場合があります。
6. 統計表の符号の用法は次のとおりです。
「○」…………… 単位未満
「－」…………… 該当数字なし
「…」…………… 不詳
「△」…………… 減少
「x」…………… 該当数字の公表をさし控えたもの

沿 革 ・ 地 勢

宜野湾間切は、1671年（寛文11年）に14カ村をもって設立された。

古くから宜野湾は自然条件が備わり、1879年（明治12年）の廃藩置県の結果、沖縄県庁の支庁として中頭郡役所が当市普天間に新設され、続いて郡教育部会事務所、県立農事試験場等の官公署が設立されるなど本島中部の政治、経済、教育の中心地として活気を呈していた。

今次大戦では、当市は壊滅的戦災をこうむったが、野嵩部落が奇跡的に焼失を免れて、本市以南の戦闘地域住民の収容所となり他の市町村に先んじて終戦処理業務が開始され、1946年（昭和21年）5月1日、行政は再び発足した。

その後、普天間を中心に都市化の傾向が著しく、人口も3万人を突破し、1962年（昭和37年）7月1日に市制が施行され健康都市「宜野湾市」が誕生した。

市制施行後、21年を経過した現在、人口は68,979名、財政規模においても大幅な伸びをみせ地域開発、住民福祉が着々と進み、更に躍動する新興途上のまちである。

位置は、沖縄本島の中部西海岸にあって、東支那海に面し、北には北谷町、東には中城村、東北には北中城村、東南に西原町、南に浦添市と接している。

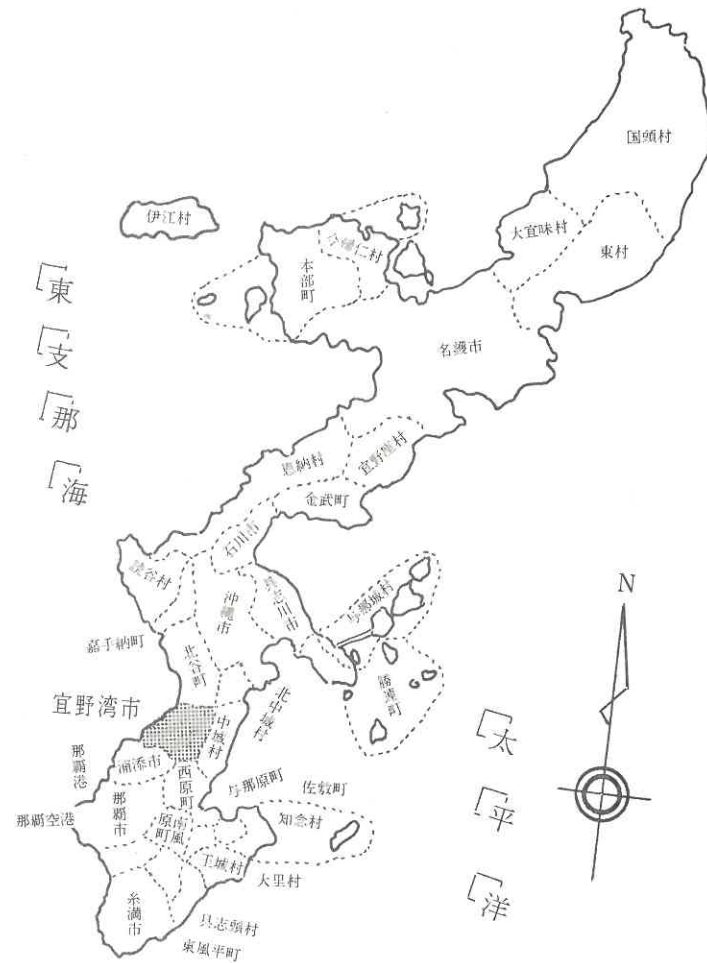
那覇市より北に12キロメートル、沖縄市より南に6キロメートルの地点にあり、また市内をドーナツ状に国道58号、330号、県道30号線、34号線の幹線が通り、沖縄本島の中部および北部を結ぶ交通上の重要な拠点に位置している。

地勢は、比較的海岸線に出入りが少なく、珊瑚礁が発達して遠浅をなしており、陸地は東西6.4キロメートル、南北が5.3キロメートルのやや長方形をなし、地形は山岳がなく、概して平坦である。海岸線は低平坦で、国道58号線以東は台地であり、米軍の飛行場となっている。西原、中城村に接する東南部は標高110メートルおよび130メートルの岳が点在している。地勢やや平坦のため、北谷町との境界に普天間川、浦添市との境界に宇地泊川がある。

地質は、大別して青灰色をなすシルト質粘土（クチャ）の島尻層群と、これを不整合に覆う那覇累層中の石灰岩部層より構成される。部分的には、国頭礫層もみられる。

宜野湾市の位置及び面積

最東端	東 経 127° 47' 21"
最西端	東 経 127° 43' 46"
最南端	北 緯 26° 14' 45"
最北端	北 緯 26° 17' 38"
総面積	19.00Km ²



宜野湾市行政区図

